

南部高等学校（龍神分校）

実施日時	平成30年 9月 25日（火）
参加者	生徒44名、教職員11名 計55名
実施内容	映像鑑賞、防災学習、防災ワークショップ

事前の取組

近年南海トラフ地震の発生が懸念されているが、本校の立地として、津波の被害は見込まれない。本校のような山や川が多い地域における防災への取り組みとして、地震・津波への防災だけでなく、近年増加している異常気象による災害に対する知識の必要性を考慮し、防災スクールのプログラムを計画した。

主なプログラム

- ・映像鑑賞
- ① 内閣府 TEAM 防災ジャパン『南海トラフ巨大地震編』（17分26秒）
https://bosaijapan.jp/library/nankai_shuto_movie/
- ② 国土交通省 気象庁 防災啓発ビデオ「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！」
『これは危ない！被害編』（6分）
- ③ 国土交通省 気象庁 防災啓発ビデオ「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！」
『これなら安全！解説編』（12分）
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/cb_saigai_dvd/index.html
- ・防災学習
南海トラフの危険性と「稲むらの火」について
避難カードの記入・作成
スマートフォンアプリ・防災ナビの紹介
- ・防災ワークショップ

懐中電灯でランタンづくり、新聞紙等を用いた暖を取る方法、水の運搬方法

参加者感想文

- ・初めて、防災ワークショップというのをやって実際に被害にあった時に役立つことが出来ると思ったし、勉強になりました。
- ・南海トラフの危険性をあまり分かっていなかったけど、防災の映像を見ることで理解することが出来た。水を運ぶ大変さと水の大切さが分かりました。
- ・災害が起きても、勉強や実践をし、知識としてあることで、実際に起きても対処できると思った。

成果と課題

映像鑑賞で地震や津波、異常気象による災害の被害を見ることで、生徒の防災への意識が高まった。また防災ワークショップでは、実際に体を動かしながら行うことで、防災時に役立つ知識・技術を身につけることが出来た。

ワークショップの内容が少なかったこと、地域住民を交えた防災訓練を行うことが出来なかったことが課題である。

